

北部工業団地が全区画完売 企業2社と進出協定締結式



YouTube で動画が見れます!

12/11[Wed]~12[Thu]



▲横尾市長とコマツカスタマーサポート株式会社の三浦代表取締役社長

11日に、コマツカスタマーサポート株式会社（本社：東京都）、12日に株式会社システムハウスアールアンドシー（本社：東京都）が多久市と企業進出協定を締結しました。

コマツカスタマーサポート株式会社は、建設機械、フォークリフトの販売・修理・レンタル業務を事業とし、北部工業団地のCロット約1万6千平方メートルの敷地内に販売拠点と修理工場を設備した佐賀営業所を設ける予定です。三浦和明代表取締役社長は「少しでも多久市へ地域貢献が出来ればと思います」と話されました。

株式会社システムハウスアールアンドシーは、モジュール建築等の製造・販売、ユニットハウス等の製造・販売・レンタルを事業とし、北部工業団地のCロット約1万平方メートルの敷地に事務所や整備棟、倉庫を設ける予定です。

中堀雅臣代表取締役社長は「整備された工業団地で、多久市に拠点をおけることを嬉しく思います」と話されました。

横尾市長は進出された2社に対して「会社のさらなる発展を願うとともに、佐賀県と連携しサポートしていきたいと思います」と笑顔で話されました。

両社は2021年3月と4月に操業開始を予定しています。



▲横尾市長と株式会社システムハウスアールアンドシーの中堀代表取締役社長

災害を乗り越え、みんなで造った多久の酒 純米大吟醸「多久」蔵開き

12/15[Sun]



▲完成を喜ぶ多久未来プロジェクトのメンバー

多久の水と米を使い、地元の酒蔵が醸造した純米大吟醸「多久」第2弾の先行販売（主催：多久未来プロジェクト）が、東多久町の東鶴酒造で行われました。

昨年8月の豪雨災害で蔵元の東鶴酒造が被災し、酒の原料となる米も確保できるかと酒造りが危ぶまれましたが、多くのみなさんの支援で、無事に今年の酒ができました。

プロジェクトの会長である小川三郎さんは「今年は昨年よりもさらに美味しくでき、甘くフルーティーかつ、しっかりした味わいで飲みやすい酒になりました。多久を想う、メンバーの思いが込められた酒の収益で、地域を盛り上げていきます」と話されました。現在、「純米大吟醸 多久」は市内の酒販店などで販売されています。